

### 3. 地域医療について



加賀市市民健康部介護福祉課

令和8年2月3日



# 加賀市の地域医療を守る条例について

## 1 市民のみなさん (第4条関係)

### (1) 適切な受診行動

- かかりつけ医を持ちましょう。
- 緊急の時以外は、診療時間内に受診しましょう。
- 医師や看護師など医療の担い手に感謝の気持ちを持ちましょう。

### (2) 普段からの健康づくり

- 検診、健康診査、予防接種、健康づくりの事業などを積極的に利用しましょう。
- 良好な生活習慣を心掛け、日ごろからの健康管理に努めましょう。

## 2 医療機関のみなさん (第5条関係)

- 患者さんとの信頼関係を築きましょう。
- 医療機関相互の機能の分担と業務連携を図りましょう。
- 医療の担い手を確保し、良好な勤務環境を保ちましょう。
- 市が実施する検診、健康診査、健康づくりの事業などに協力しましょう。

## 3 市がやること (第3条・第6条関係)

- 地域の実情に合った救急医療体制の整備に努めます。
- 市民に対する適正な受診の推進に関する啓発及び地域医療に関する情報提供を行います。
- 石川県、関係医療機関、市民活動団体等との連携を図り、地域医療を守るための施策の推進に努めます。
- 医療、保健、福祉及び介護の連携を図る施策の推進に努めます。
- 健康増進のための施策の充実を図り、市民や市民活動団体が行う取り組みを応援します。

## 加賀市の地域医療を守る条例

～市民が元気で安心して暮らせる加賀市を創ろう！～



→特に若年層に対して効果的な方法等を検討し、かかりつけ医制度の周知啓発に取り組む予定。

例) ホームページやSNS等を活用して周知

## 加賀市における在宅医療・介護連携の推進

平成25年度から、加賀市医師会をはじめ市内の関係団体・機関が一体となって、在宅医療・介護の連携促進の取り組みを実施。平成27年度からは地域支援事業の「在宅医療・介護連携推進事業」の事業項目を協働して実施している。

### 在宅医療連携グループ 「加賀市在宅医療連携推進協議会」

加賀市医師会

加賀市歯科医師会

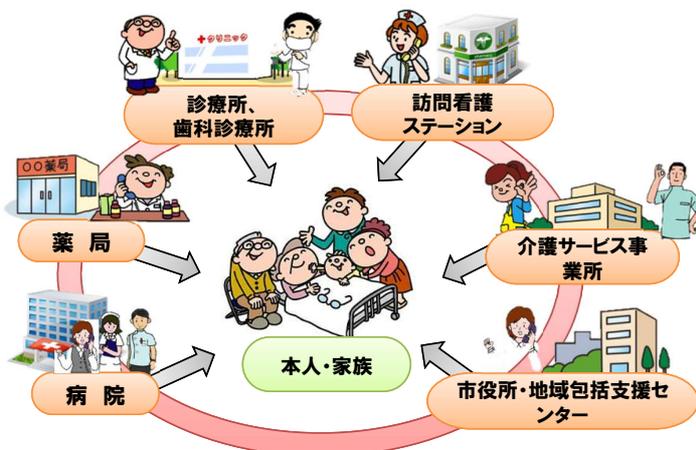
加賀市薬剤師会

加賀市介護サービス事業者協議会

病院

行政(加賀市)

医師会をはじめ、在宅患者本人と家族を支える関係団体・機関が互いに協力



※在宅医療連携グループ

「石川県医療計画」(平成25年4月)に定めるもの。地域における在宅医療・連携の関係者等が連携して推進に取り組む。医療計画では、人口7万～10万人に1グループ設置としている。

# 推進の体制

## 市の有識者による会議

### 加賀市地域医療審議会

構成(関係団体・機関の代表者)

- 加賀市医師会
- 加賀歯科医師会
- 石川県薬剤師会加賀支部
- 石川県南加賀保健福祉センター

課題や今後の取組の方向性の検討及び確認

- 加賀市介護サービス事業者協議会
- 病院
- 加賀市社会福祉協議会
- 加賀市各種団体女性連絡協議会
- 行政(加賀市)

市が中心  
となって各  
団体・機関  
で共有

## 加賀市在宅医療連携推進協議会

### ワーキンググループ

医療・介護連携の課題把握、対応検討(医療と介護の連携ワーキング)

#### 目的

- ① 医療と介護の連携が目指す方向の共有
  - ② ①のために自分たち専門職ができることを考え、取り組む
- ⇒医療と介護の連携の課題について、**自分たち(当事者どうし)で課題解決する自主的な取り組みができる**

#### 実施内容

- これまでの検討会等で出された各職種やサービス、住民の強みや弱み、問題点等をもとに課題解決に向けた取組等を検討
- 研修会、事例検討会等、必要な対応の検討(次年度以降の計画含む)
- 在宅医療資源情報(アンケートのまとめ)の検討

#### 構成

- 医師、歯科医師
- 薬剤師
- 看護師
  - ・訪問看護ステーション
  - ・病院(退院支援)
  - ・病棟
  - ・地域連携部門
- 主任ケアマネジャー
  - ・居宅介護支援
  - ・小規模多機能型居宅介護
- 介護福祉士・訪問介護員
  - ・訪問介護

※R6時点

等

報告

# 在宅医療・介護連携推進事業のイメージ

## 地域のめざす理想像

●切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

### ①現状分析・課題抽出・施策立案

- (1) 地域の医療・介護の資源の把握
  - 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
  - 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用
- (2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
  - 将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計(在宅医療など)
- (3) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
  - 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

実績① 在宅医療の資源の把握と共有

### ②対応策の実施

- (4) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援
  - コーディネーターの配置等による相談窓口の設置
  - 関係者の連携を支援する相談会の開催
- (5) 地域住民への普及啓発
  - 地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催
  - 周知資料やHP等の作成
- (6) 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援
  - 医療・介護関係者の情報共有の支援
    - 在宅での看取りや入退院時等に活用できるような情報共有ツールの作成・活用
  - 医療・介護関係者の研修
    - 多職種協働・連携に関する研修の実施(地域ケア会議含む)
    - 医療・介護に関する研修の実施

実績② 令和7年度 加賀地区在宅医療県民公開講座

・実績③ 医療・介護連携の研修会  
・(参考) 脳卒中地域連携・コラボ研修会

●総合事業など他の地域支援事業等との連携

# 実績① 在宅医療の資源の把握と共有

## 【在宅医療情報リスト】

- 加賀市の在宅医療の資源情報について、令和元年度から新規データベース（加賀市在宅医療連携推進協議会ホームページ）を作成して、データベース上に資源情報を掲載しています。
- 資源情報については、随時周知しています。



# 実績② 令和7年度 加賀地区在宅医療県民公開講座

## 【県民公開講座】

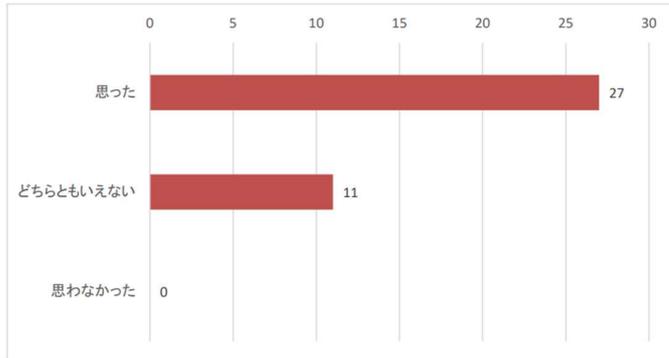
- 日時：令和7年9月28日（日） 13:30～15:00
- 会場：クロスゲート加賀 4階ホール
- 講師：医療法人社団ナラティブホーム 理事長 佐藤 伸彦 氏
- テーマ：最期まで、わたしらしく ～自分の人生をどう終えるか～



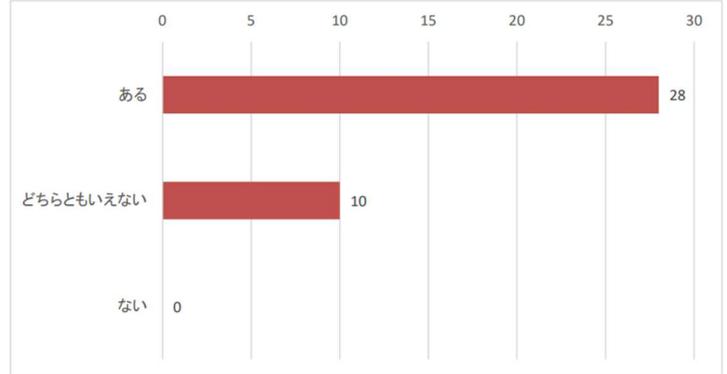
# 実績② 令和7年度 加賀地区在宅医療県民公開講座

【アンケート結果】 参加者 48名  
 回答者 38名 (うち、医療・介護関係者：27名 一般：11名)

問4. 本日の講演会を聞いて、ご自身で何か取り組もうと思われましたか。



問5. 本日の講演会の内容で、日ごろの生活で参考になりそうなことはありましたか。



## ●その他ご意見等

- ・自分がどう生きていか考えようと思った。(一般)
- ・自分が何がしたいのか、どうなりたいのかを常に考えて生活したい。(一般)
- ・どんな最期を終えたいか考えることが大切と思った。(一般)
- ・一人ひとりのものがたりをきちんと聞いていこうと思いました。(医療・介護関係者)
- ・人のものがたりを知る努力をすることが、ケアの向上につながると思いました。(医療・介護関係者)

# 実績③ 医療・介護連携の研修会 (令和7年度)

## ●かかりつけ医等認知症対応力向上研修会 地域事例検討会

### 【目的】

- ①医療機関の主治医等が適切な認知症診断についての知識、技術を習得すること。また、認知症のある方やその家族からの相談を受け、適切なアドバイスが出来るようになること。
- ②事例検討を通じて、かかりつけ医、看護師、介護支援専門員など様々な職種が連携していくための方法や他の職種の支援の考え方を学ぶこと。また、地域で認知症のある方を支えていくための方法や他の職種の支援について学ぶとともに、医療・介護関係者間で顔の見える関係をつくる。

実施日	事例内容・ミニレクチャー	形式	参加者数	総評
R8. 1. 21 (第1回)	【事例内容】 易怒性のある認知症の人の支援について考える事例	グループワーク	21	加賀温泉駅前ころクリニック 院長 長谷川英裕 先生
【予定】 R8. 2. 18 (第2回)	【事例内容】 かかりつけ医と専門医について考える事例	グループワーク		南加賀認知症疾患医療センター 副院長 喜多 克尚 先生

# 脳卒中地域連携・コラボ研修会

## 【目的】

脳卒中の医療、福祉及び保健に関する施設及び従事者が参画し、相互連携の強化を図る。

日時：令和8年1月15日（木） 19時～

会場：加賀市医療センター KMCホール

## 【参加者数】

47名



### 〔プログラム〕

#### ●テーマ

中途障害者の「働きたい」を支援しよう！

#### ●講義

「医療と介護の現場で知っておきたい障害福祉・就労支援」

（講師：石川県精神保健福祉士会 会長 蔭西 操 氏）

#### ●多職種によるグループワーク

多重問題を抱える患者の退院支援



## 今後の予定している事業について

### ●市民向け講演会

【日時】 令和8年3月23日（月）

【場所】 未定

【講師】 東京大学名誉教授 北村 聖 氏

